

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	女 40代	骨髄移植前 治療 (なし)	2600 mg (2日間)	<p>横紋筋融解症 アレルギー歴 (血小板輸血アレルギー, さば)</p> <p>投与開始日 急性骨髄性白血病に対し, 同種末梢血幹細胞移植のための前治療として, 本剤2600 mg/日 (60 mg/kg) 点滴投与開始 (2日間) 出血性膀胱炎予防のため, メスナ800 mg×3回/日 (2日間), 総合電解質輸液500 mL×5回/日 (7日間), 炭酸水素ナトリウム1.4 g×5回/日 (7日間) 投与開始 嘔気予防のため, グラニセトロン塩酸塩 3 mg/日×2日間投与開始</p> <p>投与2日目 (投与終了日) 前日と全く同じ治療を施行 夜より, 強い嘔気, 倦怠感が出現</p> <p>投与終了1日後 発熱出現 (38℃) 血液培養, 尿培養, 咽頭培養施行後, メロペネム投与開始 夕方より, 番茶様の尿が出現 臀部, 下肢痛あり</p> <p>終了2日後 血液培養, 尿培養, 咽頭培養結果: 陰性 ポートワイン色尿出現 (ミオグロビン尿疑い) 全身倦怠感が強く起き上がれず, 下半身が鉛のように重く動かない。 CK (CPK) 16846 IU/L, AST (GOT) 120 IU/L, LDH 607 IU/Lまで上昇</p> <p>終了5日後 放射線全身照射施行 (2Gy×2回/日, 3日間, 総放射線量12Gy)</p> <p>終了8日後 同種末梢血幹細胞移植施行 筋, 尿の症状は消失 横紋筋融解症回復 [担当医見解] 今回, 本剤大量療法2日目終了後6時間で全身倦怠感, ポートワイン色尿 (ミオグロビン尿疑い) 等の症状が出現。48時間後, 症状はピークに達し, ポートワイン色尿 (ミオグロビン尿疑い), CK (CPK) 上昇, 下肢がだるくて動かせないなどの症状が出現した。 本剤投与後の全身倦怠感, 筋痛の出現, その後のポートワイン色尿の出現, 血中CK (CPK) 上昇等, 症状と検査値の動きが時間的に本剤投与と一致するため, 因果関係ありと考える。</p>

臨床検査値

臨床検査 の推移		(投与前)	投与終了	投与終了	投与終了
		投与開始日	2日後	11日後	25日後
	CK (CPK) (IU/L)	42	16,846	84	40
	AST (GOT) (IU/L)	13	120	24	11
	ALT (GPT) (IU/L)	6	22	51	6
	Al-P (IU/L)	175	156	175	256
	LDH (IU/L)	157	607	162	174
	γ-GTP (IU/L)	15	13	26	17
	総ビリルビン (mg/dL)	0.3	0.8	0.3	0.3
	BUN (mg/dL)	9.7	5.1	4.7	7.4
	血清クレアチニン (mg/dL)	0.52	0.46	0.34	0.48
	尿潜血	(-)	(2+)	-	-
	尿沈査 (赤血球)	(-)	(-)	-	-

併用薬: グラニセトロン塩酸塩, メスナ, 総合電解質輸液 (維持液), 炭酸水素ナトリウム